



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —



2024年

5月

No.314

子どもの健やかな成長
願って・・・鯉のぼり
が空高く舞う



もくじ

- P2 社会福祉士連絡会／在宅福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P3 認知症講演会／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 地域サロン／地域福祉課
赤十字運動／総務課
- P5 社協情報／もの忘れ相談室、ひきこもり相談窓口 など
- P6 地域サロン／中砥川・下鶴、広崎一町内、広崎4・5町内、田原
地域を支えるふくしの輪／行政区別福祉座談会

5月の社協だより

今月号の表紙は子どもの日にちなんだ可愛い笑顔をご紹介します。はびねすの児童館に遊びに来ていた山田さん家族に協力いただきました。他にも当協議会が行った事業で「認知症講演会」や「赤十字運動」を紹介しています。また、社協情報には5月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

社会福祉士連絡会

在宅福祉課

第9回社会福祉士連絡会開催

3月13日(水)、町内の事業所に所属する社会福祉士を対象として開催しました。この連絡会は、町内で活躍している社会福祉士の分野を越えた連携や相互理解を深めることを目的としており、当日は高齢者施設、児童福祉施設、医療機関、地域包括支援センター、行政から19名の参加がありました。

今回は、役場福祉課に所属する3名の方から「行政機関におけるソーシャルワーカーの役割とジレンマ」多機関・多職種連携を目指して〜というテーマでお話していただきました。講義では、福祉課が対応している相談業務についての説明があり、グループワークでは参加者が所属する機関や相談対応を行う中で感じるジレンマについて共有しました。

今回の連絡会では、ソーシャルワーカーとして仕事をする中で生じるさまざまな困難や葛藤を話すことができる場の大切さを感じる連絡会となりました。



グループワークの様子



左から講師の橋本さん、吉田さん、山本さん

高齢者の生きがいづくり

シルバー人材センター

班別報告会

令和5年度の活動を振り返るため、作業班ごとに分かれた報告会を開催しました。令和5年度の活動状況について、作業写真等を交えて振り返り、次年度に向けたセンターの目標や年間計画を確認しました。さらに、会員からはより良い事業運営のための多様な意見が寄せられました。

今後も全ての登録会員が、地域社会に貢献しつつ、いつまでも健康的に活動できるように、より良い事業運営を目指します。



意見交換の様子



草刈作業の様子



農作業の様子

会員紹介 ～タスキ～

No.45

園田廣司さん
所属／一般作業班



高年齢者の生きがい づくり シルバー人材センター

第4回多職種協働 研修会を開催

3月23日（土）、介護の専門職を対象にグランメッセ熊本で開催しました。この研修会は、認知症に関する情報を得る研修会として、年2回行っており、今回は「認知症の人の 声のかけ方 接し方」と題して元気がでる介護研究所の高口光子代表に講師としてお話ししていただきました。

認知症講演会

地域福祉課

実際に介護している方にも分かりやすい内容で「認知症講演会」として広く町民の皆さんにも参加していただき、56名の方が参加されました。日頃から家庭や仕事として介護をされている中で慌ただしく過ぎる中で、戸惑われることも多いかと思えます。今回の研修では「自分がされて嫌なことは、人にはしない」という介護の基本から、実際にその場面に出会ったときに接し方や思わぬ行動にどう応えるかなどを分かりやすく教えていただきました。

会員登録のきっかけ

退職後、自宅で過ごす落ち着いた時間も大切にしながら、家族に迷惑をかけることがないように心がけていました。その時、社協の広報誌で募集を知り登録することになりました。

活動をとおして思うこと

現在は農家の畑や個人宅の草取りをしています。草取り作業に取り組むうちに、作物が健康に育つための大切な作業であることを感じ、やりがいを得ています。また、作業の合間に会員や地元の方との

会話も弾み、楽しみの一つです。

趣味

ガーデニングとドライブです。様々な草花や植木を育てており、盆栽は40〜50鉢ほど育てています。季節の変化に合わせて変わる草花の表情が楽しく長く続けます。

これからやりたいこと

いくつになっても新しい挑戦を続け、学んで社会に貢献することで毎日が充実しています。健康を保ち、趣味や仕事を楽しみたいです。



講師の高口先生の熱の入った言葉に引き込まれました



作業の様子



参加者同士で声のかけ方を学び、実践しました

地域サロン

地域福祉課

地域サロン応援隊フォローアップ講座

3月19日(火)、益城町復興まちづくりセンター「にじいろ」で開催し、地域サロン応援隊養成講座を受講された2期生と3期生の21名が参加されました。

今回は、整理収納アドバイザーの大石陽子さんをお招きして「整理収納のプロが教える！すぐに役立つお片付け術」についてお話をいただきました。参加者からは「家の中でも物があふれている。数を減らすことによって、減災にもつながるので意識して収納した

いと思いました」「片づけを後回しにしないで、すぐに取り掛かりたいと思いました。見える化収納すること、お金の節約にもつながることが分かりました」などの意見が聞かれました。

また、講座後は、これからサロンで応援隊として自分の地域以外に支援活動をしていただける方を募集したところ、早速グループができ、2期生と3期生の交流の場ともなりました。



「片付けでお金と時間の節約になります」と話される大石先生



ここで得た情報はサロンの参加者にも伝えていきます

令和5年度益城町分区実績

収入の部

項目	金額
1 前年度繰越金	765,346 円
2 事務費交付金	344,711 円
3 事業費交付金	330,011 円
合計	1,440,068 円

支出の部

項目	金額
1 小地域活動配分金(68行政区)	328,570 円
2 団体助成	170,000 円
3 災害救護(車両関係)	104,317 円
4 事務費	71,878 円
5 次年度繰越金	765,303 円
合計	1,440,068 円

赤十字について詳しく知りたい方は右のQRコードを参照ください。



赤十字運動

総務課

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社の前身である博愛社が設立された5月に毎年活動資金(会費)の募集を全国一斉に行っています。これは、各地で多発している災害時の活動や講習会、看護師養成といった日本赤十字社が行っている様々な活動に活用される貴重な財源となっています。昨年度は、令和6年4月12日現在で344万7112円のご協力をいただきました。

今年度も各地域の区長さんを通じて皆様にご協力をお願いをしております。

います。活動資金への協力は任意で強制ではありませんが、趣旨をご理解のうえよろしくお願いいたします。

赤十字とは
赤十字は世界192の国と地域で活動する組織です。日本赤十字社は、そのうちの一社で、西南戦争時における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／5月21日（火）

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇ひきこもり相談窓口

ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなる場合があります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。ご家族や知り合いの方からの相談もお受けしています。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮などの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

現在、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談でも構いません。興味のある方は事前連絡をお願いいたします。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所 （住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇いきぬこゝ会

在宅で介護をされている方の集まりの場です。気軽にお越しください。

日時／5月22日（水）13時30分から

場所／ひろやす荘（施設見学）

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇共同募金運動（追加掲載）

社協だより2月号で報告しました共同募金運動について、以降に追加の実績がありましたので報告いたします。

実績 772万6010円

法人募金協力企業（順不同、敬称略）

井関農機(株) チキンハウスピッコロ (有)

平井建設 (有) 拓塗工業 熊本給油設備(有)

(有) タカシマ (株) 沢工匠 宇野警備合同会

社 (有) 安本重機工業

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
5月8日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	野口泰喜 (人権擁護委員)	吉本秀子 (民生児童委員)
5月15日(水)	松尾英美 (司法書士)	野口泰喜 (人権擁護委員)	津田秀雄 (民生児童委員)
5月22日(水)	松尾 一 (行政書士)	吉村静代 (消費者地域相談員)	木下たつみ (民生児童委員)
5月29日(水)	松尾 一 (行政書士)		村上恭一 (民生児童委員)
6月5日(水)	松尾 一 (行政書士)		志賀親義 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

中砥川・下鶴コスモス会



場所／中砥川公民館／日時／毎月第1月曜日 13時

広崎一町内ふれあい会



場所／広崎一町内公民館／日時／毎月第2火曜日 10時

広崎4・5町内サロンよつ葉会



場所／広崎4町内公民館／日時／毎月第4火曜日 10時

田原寿会



場所／田原公民館／日時／毎月18日 9時30分

地域を支えるふくしの輪

行政区別福祉座談会

町内に68行政区ある中で、令和4年度は13行政区、令和5年度は24行政区で開催しました。地図を見ながら行政区の範囲を確認したり「ご近所にちょっと気になるお家があるんだけど」と題した事例を通して支援が必要な世帯をどう見守っていくのかを一緒に考えていきました。

令和6年度も順次開催し、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）事業の周知と、地域での見守りや連携体制を考える機会になるように取り組んでまいります。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



3月は木崎地区で開催しました

2024年

5月

No.314

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

